



ニュース

第1号 2021年7月

Teens

ムサカツとは？



中高生世代ワークショップ「Teens ムサカツ」は、将来を担う中高生世代がまちや地域活動などに関心を持ち、市の取組みに関する理解を深めたり、今後のまちづくりについて提言を行うことを目指すワークショップです。

令和3年度は、**ワークショップを行う「Teens ムサカツ 2022 春」**に加えて、**実行委員会**を行い、年6回程度の会議を通じて**15人**のメンバーで、ワークショップ本番に向けた運営や企画を行います。

そのほかにも、今年度から開始した子どもの権利に関する条例検討委員会と連動して、条例づくりに向けた取り組みを行っていきます。

「Teens ムサカツ 2022 春」はなにをするの？

「Teens ムサカツ 2022 春」は、**令和4年3月29日(火)**に開催します。

武蔵野市では「子どもの権利に関する条例」の制定に向けて、本格的な検討を始めました。

「Teens ムサカツ 2022 春」では、ワークショップを行い、この条例を作るにあたり、当事者である中高生世代の皆さんの意見や想いを聴く場としていきます。

＼ムサしの／＼カタ／＼ツ／
中高生世代が「武蔵野市」を語って、つながる。

「Teens ムサカツ 2022 春」 実行委員会が始まりました！



令和3年7月3日(土)に第1回実行委員会がありました。

当日は、7名の実行委員が参加しました。
第1回ということで、2つの目標がありました。

- ① メンバー皆が顔なじみになろう！
- ② 子どもの権利条約があることを知り、自分の権利として考えてみよう！

最初の**自己紹介、アイスブレイク**で、メンバーのことを少し知ったあと、子どもの権利に関する条例検討委員会の喜多(きた)委員長から、「子どもの権利とは？」と題して、子どもたち全員に権利があることを自分の経験を交えてお話がありました。

子どもの権利オークションというゲームを行いました。(セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンの開発教材) 出品リストとして12の権利の中から自分の欲しい権利を3つ選びます。

欲しい権利に対して、買いたいと思う値段をつけて、グループ内でオークションをするというゲームです。

ゲームを通して、3つしか選べないという制約の中で、個人がより大切だと思っていることを見つめなおすきっかけになりました。また、同世代の他のメンバーが考える視点も知ることができました。

人気ランキング



オークションで人気が高かった権利をランキングで紹介します！

No.1

戦争に参加しない権利

No.2

誰にも差別されない権利

No.3

無料でいつでもどんな医療でも受けられる権利

グループワークを 行いました！

● …守られていると思うこと

▲ …守られていないと思うこと

「自分にとって大切な権利とは？」というテーマで、自分の身の回りの生活で、「守られていると思うこと」「守られていないと思うこと」を「学校生活」についてと「学校以外の生活」についての2グループに分かれて情報交換しました。



1グループ: 学校生活

教育を受ける権利

● 先生が誰に対しても優しくしてくれる
誰でも教育を受けられる

▲ 先生が好きな子だけ特別扱いする
生徒のレベルに応じた教育
LGBT・宗教・性等の教育が十分でない
ことにより、いじめが起きる



宗教の自由・給食を食べられる権利

● 栄養がある食事をとれる

▲ 給食の時間が少ない
宗教による食や習慣の違いの配慮がない
身に着けるものの違いへの配慮がない

休む権利

● 休憩時間があり、好きなことをできる。

▲ 先生の監視がないことでいじめが起きる
休み時間に無理やりなにかをやらされる

自治の自由・個人の自由

▲ 障害がある人がいじめられる
好きな服装で学校に行けない
生徒が校則を変えられない
仲間はずれがある

どの権利にも
いじめは
関係がある

2グループ: 学校外の生活

生存権…衣食住

● 家がある
三食食べられる
生活必需品を手に入れられる

▲ 家庭環境によっては守られていない

医療を受けられる権利

● 多くの人は医療を受けられる

▲ 戸籍がない人やお金がない人は医療
を受けるのが厳しい



職業など自分で選択できる権利

● 所属場所を自分で選べる
習い事など自分で選べる

▲ 好きな服を選べない
友達同士で合わせなければならない（食べるものなど）
やりたいことを自分で選択できない
門限を自分で決められない



「子どもの権利条約があることを知らなかった」「権利を考えることが難しかった」と苦戦する声もありましたが、プログラムを通じて、きちんと日々の生活に置き換え、ひとりひとりが自分のこととして考えることができました。

また、発表では、様々な環境の子どもの立場としての意見も入っており、子どもたち全員のための条例づくりであるということを改めて感じました。全員でわいわいと取り組むことができ楽しい会となりました。



《今後のスケジュール》

第2回 8月29日(日)
第3回 10月17日(日)
第4回 12月26日(日)
第5回 2月13日(日)
第6回 3月19日(土)

※すべて
13:00~16:00

